

あなたの知らない三河高原

インカレロング・中日東海大会 2008年11月2日 愛知県新城市

木村佳司

「また三河高原か」「もう三河高原は走り尽くしたよ」いやちょっと待った。あなたは三河高原を走り尽くしていないはずだ。



2005年に三河高原（愛知県）にて開催された世界選手権ロング男子優勝者
アンドレイ・ハラモフ（ロシア）

日本学生オリエンテリング選手権
ロングディスタンス競技大会
/ 中日東海ブロック大会
2008年11月2日 愛知県新城市

世界選手権用リザーブ

2005年8月、世界選手権が愛知県三河高原を中心とした一帯で開催された。

このとき多くの素晴らしい地図が三河高原に作られた。その中には世界選手権の予選・決勝で使用されたものもあれば、モデルイベントやトレーニングキャンプ用に使用されたものもある。

あれから3年。世界選手権に使用された地図の多くはその後に学生選手権やローカル大会などでも使用され、通行可能度のよいテレインとあいまって素晴らしい競技環境を提供してくれている。

しかし世界選手権のテレインとして調査されながら、結局予備範囲とされ、世界選手権用の地図としては世の中に出てこなかった幻のテレインがある。それは三河高原作手地区の中心地のすぐ近くだ。この世界選手権のリザーブだった幻の本格的ロングディスタンス用テレインをインカレロング2008では使用する。

愛知世界選手権の時に地図調査されてから3年。その間のテレイン変化や、コントロール周りの精度アップを含めて地図をアップグレード。もちろん森の通行可能度は抜群だ。

三河高原のリザーブだったテレインは息を潜めて、あなたとの静かな対話を待っている。

50回を迎える中日東海大会

この大会は同時に中日東海ブロック大会と併催する予定だ。今まで数々の歴史を残してきた中日東海ブロック大会。日本各地のブロック大会が消滅しているなか、この大会だけが独立独歩の輝かしい実績を残している。その中日東海ブロック大会もこの大会で記念すべき50回を迎える。

（木村佳司）

三河高原「作手地区」へのアクセス

東名自動車道「豊川インターチェンジ」から、車で国道151号、国道301号を経由して45分。

